

# 香川大学生のための 海外留学・研修ハンドブック 2014-2015



**DREAM**

**WISH**

**CHALLENGE**

**ENCOUNTER**

**COMMUNICATION**

## 目次

p.1 海外留学チェックチャート

p.2 香川大学の海外留学プログラム/  
インターナショナルオフィスの紹介

p.3 グローバル人材育成プログラム

p.4 派遣交換留学

p.5 香川大学の学術交流協定校

p.6 SUIJI-SLP

p.7 インターンシップ

p.8 短期語学研修

p.9 Study Abroad

p.10 海外体験型異文化コミュニケーション

p.11 JICAボランティアプログラム

p.12 先輩の体験談

p.13 海外留学のための奨学金

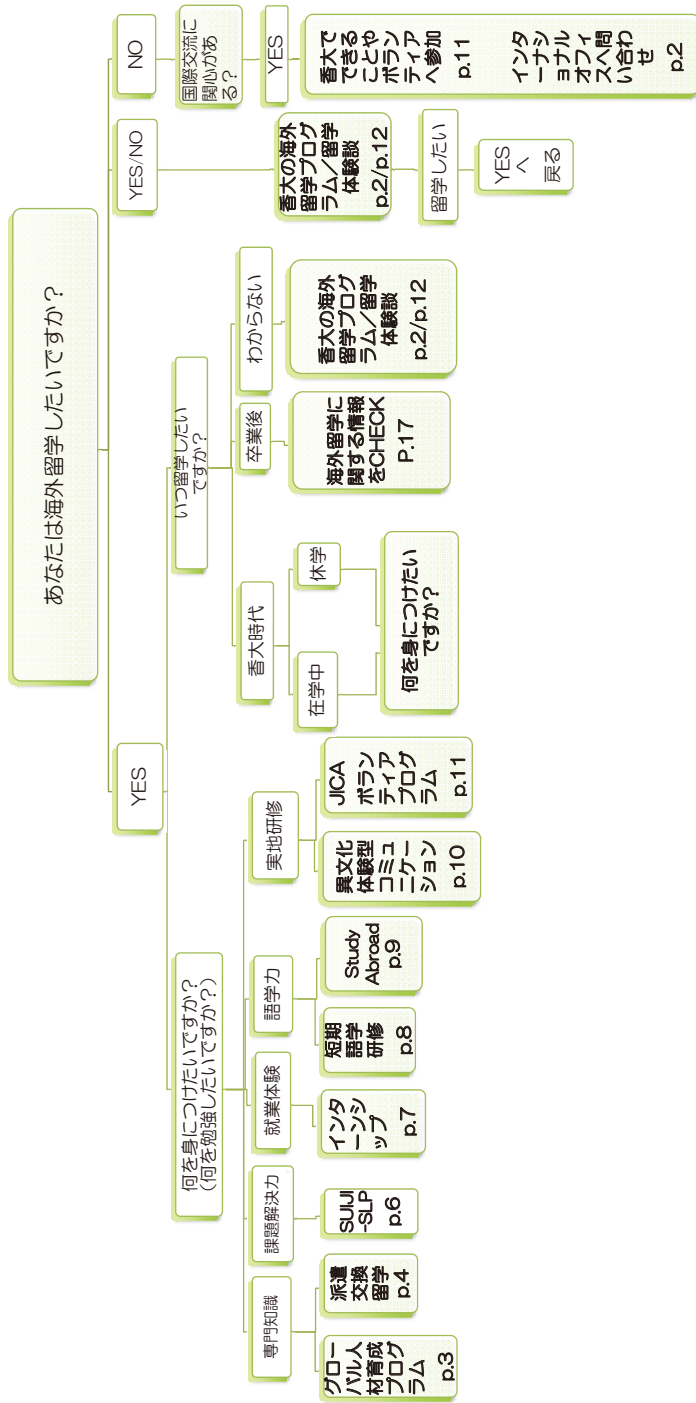
p.14-15 Q&A

p.16 危機・安全管理体制

p.17 海外留学関連情報リンク

# 海外留学チェックチャート

あなたは何がしたい？まずは自分がどうしたいのかをチャートでチェック！



## 留学の目

### 1. 専門知識を養う (p.3~4)

国際的に通用する専門知識を身につける。本学に在籍したまま、1年以内の期間、科目等履修や研究指導などの機会を得ることができる。グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材を目指すプログラムもある。

### 2. 課題解決力を養う (p.6)

本学を含む日本とインドネシアの6大学が協働して実施するプログラム。四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、大学で学んだ知識を生かして課題解決に向けた実践を行う。

### 3. 就業体験を行う (p.7)

本学の学生が、学術交流協定を締結している海外の大学、または大学と関連のある企業などで研究指導などを受けながらインターンシップを行う。

### 4. 語学力を養う (p.8~9)

本学の学生が、学術交流協定を締結している海外の大学、または継続して派遣実績のある海外の大学で、主に外国語習得のための研修に参加する。

### 5. 実地研修を行う (p.10~11)

本学の学生が、学術交流協定を締結している海外の大学、または継続して派遣実績のある海外の大学で、外国語習得、異文化体験、国際交流などの経験を積んだり、開発途上国でボランティア活動を行ったりする。

香川大学では現在、20の国や地域の大学と学術交流協定を締結し、海外の大学などへ学生を派遣しています。本学の海外留学には、大きく分けて**5つのタイプ**があります。それぞれのタイプごとに、留学先(国、大学)や時期、応募資格などが異なります。あなたの留学目的にあったタイプを見つけましょう。

海外留学に関する情報や相談は、インターナショナルオフィスをお訪ねください。インターナショナルオフィスは、外国人留学生の教育および生活支援の他、日本人学生を海外の大学などへ派遣したり、学内外での国際交流活動を推進したりする、香川大学の国際交流の窓口です。



インターナショナルオフィス 研究交流棟4階(幸町キャンパス)

ウェブページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>

海外留学相談専用 Email: [stu-abr@ao.kagawa-u.ac.jp](mailto:stu-abr@ao.kagawa-u.ac.jp)

海外留学相談窓口(全般)

ロン・リム 教員 TEL: 087-832-1871 Email: [lrong@cc.kagawa-u.ac.jp](mailto:lrong@cc.kagawa-u.ac.jp)

オフィスアワー: 火・木曜日 13:30~14:30

正楽 藍 教員 TEL: 087-832-1197 Email: [shoraku@cc.kagawa-u.ac.jp](mailto:shoraku@cc.kagawa-u.ac.jp)

(後期から) オフィスアワー: 火曜日 10:00~11:30

※ 各プログラムの問合せ先は、プログラム別ページをご覧ください。



### グローバル人材育成プログラムとは？

香川大学ネクストプログラム（注）の一つで、新入生向けの海外留学支援プログラムです。グローバル化の進む地域社会の課題解決に貢献できる人材、国際的に通用する語学力と専門知識や技能をもつ人材の育成を目指し、在学中の海外留学の実現をサポートします。英語圏（アメリカなど）の学術交流協定校への留学を目指す英語コースと中国語圏（中国、台湾）への留学を目指す中国語コースがあります。

英語コースは1年前期、中国語コースは1年後期からスタートします。特別授業と自宅学習により、1年間半～2年間の語学集中訓練を積みます。その後、語学検定試験（TOEFL、HSK）で基準以上のスコアを取得すると、学術交流協定校への留学のための奨学金を受けることができます。

### グローバル人材育成プログラムの特徴

- ✧ 留学にむけて語学力向上を目指したプログラム関連授業科目
  - ✧ ネイティブスピーカーとの対話訓練（Skype等）
  - ✧ インターネットシステムを利用した語学学習（ALC NetAcademy）
- 授業プラス自律学習により TOEFL、HSK の基準スコア突破を目指します。  
※TOEFL はアメリカ留学に必要な英語検定試験です。  
※HSK は中国政府公認の中国語検定試験です。



### 1年間の留学（学術交流協定校）

一定の語学レベルまで達した参加者は、カリフォルニア州立大学（アメリカ）、上海大学（中国）、真理大学（台湾）など、香川大学の学術交流協定校で1年間の留学経験を積みます。

留学にあたっては、大学が奨学金等の支援を行います（渡航費、授業料、寮費）。

### プログラムの修了

香川大学および留学先大学でプログラムの修了要件を満たした学生には、修了認定証が発行されます。特に優秀な成績を収めたと認められる学生には卒業時に学長表彰を行います。



### プログラム説明会

英語コースは入学当初（4月8日）新入生を対象に、中国語コースは1年前期、中国語履修者を対象に説明会が行われます。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kagawa-u.ac.jp/articles/000/010/371/>

注：香川大学ネクストプログラムは、各学部のカリキュラムから独立した特別教育プログラムです。グローバル人材育成プログラムの場合、学部の卒業要件に含まれない授業の履修および1年間の留学が必要です。実験、実習などで時間割上余裕がない学部・学科（コース）の学生は4年間で卒業することはできません。

問合先：修学支援グループ（087-832-1365）

### 派遣交換留学ってどんなもの？

本学の正規課程の学生が、学術交流協定を締結している海外の大学に、1年以内の1学期又は、複数学期の間、本学に在学・在籍したまま、協定校にて科目履修、または研究指導などの教育の機会を得る留学を指します。留学先の国や大学は、「香川大学の学術交流協定校」(p.5)をご覧ください。

### 派遣交換留学の特徴

- ✧ 香川大学へ授業料を納めていれば、留学先の授業料は必要ありません（例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください）。
- ✧ 留学先で取得した単位は、所定の手続きを経て香川大学の単位として認定されます（例外もありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスへお問い合わせください）。
- ✧ 留学先の大学で、現地の学生とともに正規の授業を受けることができます（ただし、一定の語学力が必要です）。

### 派遣交換留学の手続きの流れ

派遣交換留学には通常、留学開始の1年、または1年半前からの準備が必要です。留学を思い立ってから留学開始までの流れについては以下を参考にし、早めに準備を始めましょう。



## 大学間協定

[illegible]

## 香川大学の学術交流協定校

★ 大分県は、大分県民の生活の向上に努めていく。★  
★ 大分県は、大分県民の生活の向上に努めていく。★

## 部局間協定

| 機関名                 | 国・地域名        | 対象学部・研究科名       |
|---------------------|--------------|-----------------|
| 清州大学文学部             | 大韓民国         | 教育学部            |
| クラウス・トチオウ・ボリウニク工科大学 | ニュージーランド     | 教育学部            |
| 江西師範大学国際教育学院        | 中華人民共和国      | 教育学部、大学院初等教育研究科 |
| 上海社会科学院法学研究所        | 中華人民共和国      | 法学部、大学院法学研究科    |
| 華東政法政法大学            | 中華人民共和国      | 法学部、大学院法学研究科    |
| ポソニランユニバースィス大学経済学部  | ドクト連邦共和国     | 経済学部、大学院経済学研究科  |
| カルガリ大学工学部           | カナダ          | 医学部             |
| 中国医科大医学部            | 中華人民共和国      | 医学部             |
| 河北医科大学              | 中華人民共和国      | 医学部             |
| フルネー・ダルサラーム国保健省     | ブルネイ・ダルサラーム国 | 医学部             |
| プリティッシュコロンビア大学局用科学部 | カナダ          | 工学部、大学院工学研究科    |
| ポソニランユニバースィス大学      | ドクト連邦共和国     | 工学部、大学院工学研究科    |
| 面江高等精密機械大学院大学       | フランス共和国      | 工学部、大学院工学研究科    |
| トレド大学               | アメリカ合衆国      | 工学部、大学院工学研究科    |
| ロバートエム科学者大学         | フィンランド共和国    | 工学部、大学院工学研究科    |
| 漢陽工業学部第四群           | 大韓民国         | 工学部、大学院工学研究科    |
| ハルムスタット大学情報科学部      | スウェーデン王国     | 工学部、大学院工学研究科    |
| 北京師範大学化学学院          | 中華人民共和国      | 工学部、大学院工学研究科    |
| 北京理工大学生命学院          | 中華人民共和国      | 工学部、大学院工学研究科    |
| タック大学学生物科学部         | ハンガリー人民共和国   | 農学部、大学院農学研究科    |
| ミシガン州立大学農学・自然資源学部   | アメリカ合衆国      | 農学部、大学院農学研究科    |
| ボコーン農業大学農学部、大学農学研究科 | インドネシア共和国    | 農学部、大学院農学研究科    |
| 西オーストラリア大学自然科学部・農学部 | オーストラリア連邦    | 農学部、大学院農学研究科    |
| ブルゴニユ大学アグロスフ校       | フランス共和国      | 農学部、大学院農学研究科    |

## 日本・インドネシアの農山漁村で展開する6大学協働サービラーニング・プログラム

Six-University Initiative Japan Indonesia – Service Learning Program (略称 SUIJI-SLP)

SUIJI-SLP は、日本とインドネシアの6大学（香川大学、愛媛大学、高知大学、ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、ハサヌディン大学）が協働して実施するプログラムです。6大学の学生がともに、四国とインドネシアの農山漁村地域に滞在し、現実社会が直面している課題に取り組みながら学びます。



現実社会の中で、他者と自分に向き合い、多様な人々と協働しながら、課題解決に向けた実践を試み、試行錯誤の経験の中から、未来社会の持続的発展に貢献できる国際的なサーバント・リーダー（地域社会で献身的に活動するリーダー）を養成することを目指したプログラムです。

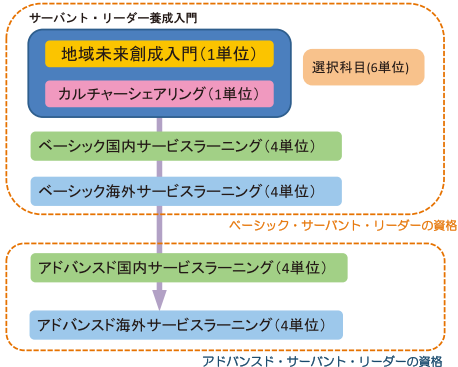
### ベーシック・サーバント・リーダー コース

SUIJI-SLP は、ベーシック・コースとアドバンスド・コースがあり、ベーシック・コースは、全学の学生を対象としています。アドバンスド・コースは、原則として農学部学生を対象としています。

ベーシック・コースの「地域未来創成入門」、「カルチャーシェアリング」は、主題B「グローバル社会と異文化理解」でサーバント・リーダー養成入門として開講します。「地域未来創成入門」は、土曜日に2コマ連続で合計8コマ実施します。「カルチャーシェアリング」は、ワークショップと、インドネシアの学生と共にフィールドワークを行い、お互いに自国の農山漁村の文化に関するプレゼンや議論を行います。「ベーシック国内サービラーニング」は、香川・愛媛・高知の農山漁村でインドネシアの学生と一緒に8月（予定）にフィールドワークを行い、「ベーシック海外サービラーニング」は、インドネシアで、インドネシアの学生と一緒に農山漁村に滞在して、実践・貢献しながら学びます。

ベーシック・サーバント・リーダーのコースの所定の単位を修得した者には、SUIJI コンソーシアムからベーシック・サーバント・リーダーの資格が付与され修了証書が発行されます。

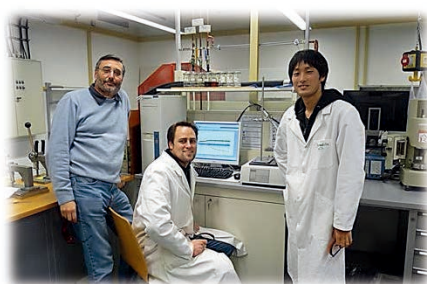
### SUIJI-SLPのカリキュラムの構成



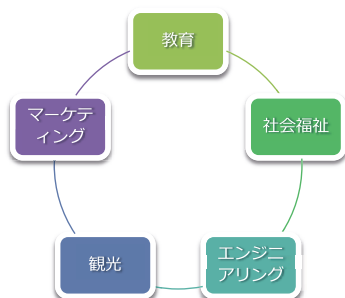
問合せ先：農学部学務係（087-891-3018）

## インターンシップとは？

学生が在学中に一定期間企業などで研修生として勤務し、自分の専門分野や関心のある分野の就業体験をすることです。



## インターンシップ・プログラム



香川大学の学生が参加できる海外の大学などでのインターンシップ・プログラムには、特定の学部の学生のみが参加できるものとすべての学生が参加できるものとがあります。インターナショナルオフィスは、すべての学生が参加できるインターンシップ・プログラムを紹介し、学生を派遣しています。

海外でのインターンシップには、一定程度の語学力が必要です。インターナショナルオフィスが紹介するインターンシップ・プログラムに参加する学生は、海外の大学で実施され

る数週間から数ヶ月間の語学研修へ参加した後、インターンシップ先の企業などへ派遣されます。そのため、このインターンシップ・プログラムは、香川大学を休学して参加することが必要となる場合もあります。

インターンシップ先には、図のような分野の企業などがありますが、実際のインターンシップ先は、派遣された海外の大学の担当者と面談して決めることになります。

(例) UBC (ブリティッシュコロンビア大学/カナダ)、  
GAIP(Global Academic Internship Program) の場合

| 語学研修 | インターンシッププログラム |             |
|------|---------------|-------------|
|      | 演習 (2 ヶ月)     | 就業体験 (2 ヶ月) |
| 4ヶ月  |               | 8ヶ月         |

問合先：各学部学務係



インターナショナルオフィスは現在、カナダとオーストラリア、韓国の大学へ学生を派遣しています。研修期間は夏休みや春休みの数週間（約2週間～5週間）のもの、他、数ヶ月のものもあります。夏休みや春休みの間以外の研修へ参加する場合、香川大学を休学する必要があります。

外国語の習得を主な目的として、派遣先の大学での語学プログラムへ参加し、派遣先の大学教員による講義へ出席します。ホームステイ又は、学生寮に滞在することにより、講義以外の場所でも外国語に触れる機会を持つとともに、現地の人びととの交流を深めます。

### カナダ・オーストラリア

カナダのカルガリー大学とオーストラリアの西オーストラリア大学での英語研修プログラムへ参加します。

**研修期間** 8月～9月／2月～3月（約5週間）

**研修対象** 全学生（学部生・大学院生）

**参加費用** 約40万円

※ 派遣先および期間に応じて異なります。

**宿泊先** ホームステイ

※ 後期は、上記の語学研修を Study Abroad (Global English at UC/UWA) として開講します。詳細は9ページをご覧ください。

**問合先** インターナショナルオフィス  
ロン・リム（087-832-1871）



### 韓国

大邱大学と建国大学での韓国語研修プログラムへ参加します。

**研修期間** 8月～9月／2月～3月

（約2週間～3週間）

**研修対象** 全学生（学部生・大学院生）

※ 在留資格が「留学」の学生は参加できません。

**参加費用** 約15万円

※ 派遣先および期間に応じて異なります。

**宿泊先** 学生寮

**問合先** インターナショナルオフィス

高水 徹（087-832-1195）

塩井実香（087-832-1196）

インターナショナルオフィスは高学年向け教養科目として、「Study Abroad(Global English at UC/UWA)」「(全学共通科目)」を開講しています。海外に関する基本情報、英語によるプレゼンテーションに関する講義を日本国内で受講した後、カルガリー大学または西オーストラリア大学での現地研修へ参加し、１００時間程度の語学研修を受けます。海外での経験を積み、プログラムに参加している各国の学生や担当教員と交友を深め、世界に通用する広い視野を涵養するために必要な「生きた英語力」と「国際的感覚」を高めます。

#### <２０１４年度の授業内容（予定）>

| 内 容                                                                                   | 場 所           |
|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| ガイダンス、授業の説明及び確認<br>海外に関する基本情報<br>社会・大学のグローバル化と語学力の必要性<br>研修参加に関する諸手続き<br>渡航前オリエンテーション | 日本            |
| カルガリー大学または西オーストラリア大学にて１００時間程度の研修                                                      | カナダまたはオーストラリア |
| 英語による報告書の作成<br>英語によるプレゼンテーションの準備<br>成果発表会                                             | 日本            |

**開講日時** 後期・水曜日・３限目 ＋ 海外の大学での研修（２～３月・４～５週間程度）（予定）

**研修対象** 全学部（学部生） ※ 大学院生は受講可能ですが、単位を取得することはできません。



#### 体験談

この研修では、様々な国の人々と関わる機会がたくさんありました。彼らとの交流の中で、新しい考え方や知識を得ることができ、それは日本や自分についても見つめなおす良いきっかけとなりました。学校の友達やホストファミリーとの会話など、英語を必然的に話さなければならない環境におかれます。毎日少しずつ友達や家族との会話が増えていくことを実感し、研修の終盤では英語でコミュニケーションをとることに抵抗がなくなりました。五週間は留学としては短いですが、かけがえのないチャンスがたくさん転がっていました。勇気を出して踏み出したことは、今の自信につながっています。（経済学部１年生 畠中健太郎さん）

問合せ先：インターナショナルオフィス ロン（087-832-1871）、正楽（087-832-1197）

インターナショナルオフィスは海外異文化体験の入門として、「海外体験型異文化コミュニケーション」(全学共通科目・主題科目)を開講しています。異文化理解や外国語によるプレゼンテーションに関する講義を日本国内で受講した後、タイ北部の都市、チェンマイでの現地研修へ参加します。現地研修では、香川大学の学術交流協定校の1つであるチェンマイ大学の学生らとディスカッションをしたり、山岳民族の子どもを訪ねたりして、異文化を背景とする人びととの交流実践を積むとともに、グローバル社会で求められる能力を伸ばします。

<2014年度の授業内容(予定)>

| 内 容                                                                                                       | 場所 | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 場所 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 異文化コミュニケーションの基本<br>タイに関する基本情報<br>英語によるプレゼンテーションの準備<br>英語によるプレゼンテーションの予行練習<br><br>成果発表会(帰国報告会)の準備<br>成果発表会 | 日本 | Lessons on "Thai Language"<br>Lessons on "Oral Expression"<br>Lecture on "Thai History"<br>Lecture on "Thai Economy"<br>Lecture on "Thai Society"<br>Lecture on "Thai Buddhism"<br>Visit NGO Activities at Wieng Pa Pao, Chiang Rai / Factory in Lamphun Province<br>Presentation / Discussion with Chiang Mai University Students | タイ |

開講日時 前期・木曜日・5限目 + タイ実地研修：2014年8月または9月中の2週間(未定)

研修対象 全学部の1、2年次生



体験談(抜粋)

- ◆この研修で学んだことは「一歩踏み出す勇氣」だと思う。(教育学部1年 引田宏平さん)
- ◆今までの考えが変わるような本当に多くのことを学んだ。もしこの授業に参加していなかったら、私は今のような考え方は確実にできていないと思う。(経済学部1年 池原麻央さん)
- ◆タイの研修は本当に書ききれないほどに、濃かった。そして感動した。この感動は自分の中だけで終わらせたくない。来年入ってくる新入生みんなに平等にあるこのチャンスをどうか逃さないでほしい。(工学部1年 嘉数考紘さん)

問合先：インターナショナルオフィス ロン(087-832-1871)、正楽(087-832-1197)



インターナショナルオフィスは独立行政法人国際協力機構（JICA）と提携し、開発途上国への国際協力に貢献できるグローバル人材の養成を目指しています。JICA が実施するさまざまなプログラムを学生の皆さんに活用してほしいと思います。以下、JICA ボランティアのプログラムについて紹介します。いままでは香川大学からは、**85 名**の学生が**40 カ国**での活動に参加しています（2014 年 2 月現在）。

<3 つのタイプのボランティア> 詳細は、<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/>

|      | 青年海外協力隊                               | 日系社会青年ボランティア                          | 短期ボランティア                           |
|------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 応募資格 | 満 20 歳から満 39 歳の日本国籍を持つ者               | 満 20 歳から満 39 歳の日本国籍を持つ者               | 満 20 歳から満 39 歳（募集期間終了時現在）の日本国籍を持つ者 |
| 受入国  | アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東の約 80 カ国           | 中南米の約 9 カ国                            | アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東の約 80 カ国       |
| 派遣期間 | 原則 2 年間                               | 原則 2 年間                               | 1 年未満                              |
| 募集時期 | 春（4－5 月）、秋（10－11 月）                   | 秋（10－11 月）                            | 年 4 回（5 月、8 月、11 月、2 月）            |
| 待遇   | JICA の規程にもとづき往復旅費、現地生活費、住居費、国内手当等を支給。 | JICA の規程にもとづき往復旅費、現地生活費、住居費、国内手当等を支給。 | JICA の規程にもとづき往復旅費、日当、宿泊費等を支給。      |

#### 活動分野―職種（例）

- ◆人的資源 ― PC インストラクター、青少年活動、環境教育、服飾、幼児教育、音楽、日本語教育、小学校教育、理科教育、数学教育、体育、柔道、スポーツ全般
- ◆農林水産 ― 稲作栽培、野菜栽培、土壌肥料、家畜飼育など
- ◆保健医療 ― 看護師、助産師、保健師、作業療法士、栄養士、感染症・エイズ対策、公衆衛生など
- ◆鉱工業 ― 溶接、工作機械、電気・電子機器、自動車整備、木工など
- ◆社会福祉 ― ソーシャルワーカー、障がい児・者支援など

文中の太字の職種は、途上国からの要請が多い職種で、日本からあまり派遣できていない職種です。

問合先：インターナショナルオフィス 熊谷（087-832-1179）

## 先輩の体験談

体験談は、インターナショナルオフィスのウェブページでご覧いただけます。

**派遣交換留学** 研修期間：2013年4月～2013年12月

**大西悠香さん**（農学部4年生） 研修先：チェンマイ大学（タイ・チェンマイ）

2013年4月から12月の間、調査研究でチェンマイ大学農学部留学しました。現地では、留学する以前に参加したインターンシップで仲良くなった、チェンマイ大学のタイ人学生の友達がお世話をしてくれました。彼女のおかげで、生活面で不安を感じることなく充実した日々を送れましたし、友達の輪も広がりました。彼女に感謝するとともに、これからも人とのつながりを大切に、広げていきたいと思いました。今回の留学では、旅行では得られない、滞在するからこそ得られる様々な経験ができました。しかし楽しいことばかりではなく、言葉や文化の違いから困難に遭遇したときもありましたが、それを乗り越えようと必死に努力したことで人間的に成長できた内容の濃い特別な8カ月間でした。今ではこの留学にたいへん満足しています。そして、またチェンマイに留学しようと考えています。



**インターンシップ** 研修期間：2013年10月1日～12月20日

**清家都宏さん**（工学研究科1年生） 研修先：ボン＝ライン＝ズィーク大学（ドイツ・ボン）

滞在中、派遣先で生体高分子の抽出・精製・特性評価の仕事に携わる傍ら、現地の学生とのタンデムやマラソン大会、ボランティア活動などにも参加しました。研究活動を通して、工学的な専門知識を得たり、語学力の向上を図るだけではなく、異国の文化に直に触れることで、新しい価値観を得ることができたと思います。初めての海外生活は、毎日が新しい経験の連続でした。もちろん楽しいことばかりではありませんが、日々の何気ない出来事一つ一つが、私にとってかけがえのない経験となり自分を強くし、成長させてくれたと感じています。きっかけは人それぞれだと思いますが、「行ってみたい！ やってみたい！」という素直な気持ちが1番大切だと思います。後輩のみなさんにもぜひこの制度を利用して、素晴らしい経験をしてきてほしいと思います。



**短期語学研修** 研修期間：2013年2月18日～3月1日

**和田菜々さん**（経済学部2年生） 研修先：建国大学（韓国・ソウル）

私が、建国大学の研修に参加して特に良かったと思うことは韓国語のみで過ごす時間を持てたことです。研修には、15時間の韓国語の授業が含まれていました。15時間という時間は、正直少ないと感じるほどでしたが、この授業をきっかけに、先生との昼食や研修で出会った日本人の学生と過ごすときも積極的に韓国語で話すことができました。韓国語を学習している日本人の中でも、それぞれが知っている単語や表現は異なるので、会話の中で知らない言葉を教えてもらうことができ、疑問に思ったことは先生や現地の学生にすぐ聞くことができる環境でした。それは今までの独学や講義とは全く異なるものであり、帰国後の学習意欲を高めてくれました。



## 海外留学のための奨学金

本学の学生が海外の大学などへ留学するための奨学金を紹介します。これらの他にもいくつかの奨学金がありますので、詳しくは、インターナショナルオフィスのウェブページで確認してください。

[http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study\\_abroad/scholarship/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/scholarship/)

多くの奨学金は留学開始の半年、または1年以上前から募集が開始されます。奨学金の取得を目指す学生は、早い段階から準備を始めましょう。

2014年3月現在

| 奨学金名称                                    | 応募資格（※）                                                                                                                                                        | 支給額                                                                                                                                                  | 返還<br>義務   | 募集期間                       |
|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------------------|
| 独立行政法人<br>日本学生支援機構<br>海外留学支援制度<br>（長期派遣） | 修士・博士の学位を取得するために留学（ダブルディグリー・プログラム等の複学位制度による留学を含む）する、日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者                                                                               | 〈奨学金〉<br>月額8万9千円、10万4千円、11万8千円、14万8千円のうち、いずれか（渡航先に応じて決定する。予算の状況により金額が異なる場合がある。）<br>〈授業料〉<br>1万米ドル相当までは実費額を支給し、それを超える場合は、予算の範囲内で追加支給する場合がある。（上限250万円） | 無          | 10月頃                       |
| 独立行政法人<br>日本学生支援機構<br>海外留学支援制度<br>（短期派遣） | 本学と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づいて、本学に在籍したまま、1年以内の期間、本学が実施する派遣プログラムにより派遣される学生（大学がプログラムを申請）                                                                           | 月額6万円、7万円、8万円、10万円のうち、いずれか（渡航先に応じて決定する。）                                                                                                             | 無          | プログラム開始時期により異なる（掲示に注意すること） |
| 独立行政法人<br>日本学生支援機構<br>第二種奨学金<br>（短期留学）   | 国内の学校に在籍し、海外の大学等に3ヶ月以上の短期留学をする者で、下記のいずれかの条件で留学を希望する者<br>(1) 本学の学生交流に関する協定等に基づく留学<br>(2) 留学により取得した単位が、本学の単位として認定される留学<br>(3) 大学院在籍中の学生の研究のための留学で、本学学長が有意義と認めた留学 | 〈大学〉<br>月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の中から選択<br><br>〈大学院〉<br>月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択                                                                 | 有<br>(有利子) | 留学開始時期により異なる               |
| 独立行政法人<br>日本学生支援機構<br>第二種奨学金<br>（海外）     | 学位取得を目的として海外の大学院に留学を希望する者                                                                                                                                      | 月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円、13万円、15万円の中から選択                                                                                                              | 有<br>(有利子) | 進学時期により異なる                 |
| 香川大学国際交流資金<br>外国へ留学する学生<br>援助事業（A）       | 外国の大学等へ留学する本学在籍中の学生又は大学院生が留学期間3ヶ月以上で、部局長等が推薦する者                                                                                                                | 6万円(準備金)+月25千円                                                                                                                                       | 無          | 1月頃                        |
| 香川大学国際交流資金<br>外国へ留学する学生<br>援助事業（B）       | ダブルディグリー・ジョイントディグリープログラムにより外国の大学へ留学する学生で、部局長等が推薦する者                                                                                                            | 6万円(準備金)+月35千円                                                                                                                                       | 無          | 1月頃                        |

※ 最新情報、応募資格の詳細については、各奨学金の募集要項で確認してください。

奨学金問合窓口：①国際グループ 幸町北キャンパス研究交流棟4階 TEL: 087-832-1194 ②各学部・研究科学務係

## Q & A

海外留学する、または海外留学を考えるにあたり、疑問に思うこと、不安に思うことなど、よくある質問をまとめています。ここで答えが見つからない、もっと詳しい情報が欲しい！などの時は、お気軽にインターナショナルオフィスまでお越し下さい。



**Q. 留学先で事件や事故に巻き込まれたり、財布やクレジットカードを落としたりした時など、緊急時に日本語で対応してくれる連絡先はありますか。**

A. 先ずは、派遣先の大学などの教職員やインターナショナルオフィスの教員へ連絡を取り、状況を説明してください（怪我などの程度により自分で状況を説明できない場合、派遣先の大学などの教職員や周囲の協力をお願いしてください）。

留学先での自分の安全を守ることは、第一に自分自身の責任です。派遣先の地域の安全性を事前に確認のうえ、常日頃から責任ある行動を取ってください。

**Q. 留学＝費用が高い、というイメージがありますが、できるだけ費用を抑える方法がありますか。また、どれくらいの費用が平均なのでしょう。**

A. 派遣先の国や地域、留学期間に応じて異なりますが、数週間の短期語学研修の場合は約 20 万から 40 万円、半年以上の派遣交換留学の場合は約 100 万から 200 万円かかります。自分の希望する留学プログラムが奨学金の対象となるかどうかを調べ、対象となる場合は各種奨学金へ積極的に応募してください。

**Q. 長期で留学するには休学する必要があると思いますが、学年が違うことで、帰国後の就職活動や各種試験に影響が出ないか不安です。**

A. 留学後のプラン（卒業までの年数、就職や進学などの進路）を十分に立てることが必要です。「留学で身につけたいこと（知識や能力、経験）」が留学後のプランを実行するために必要なものかどうかを考えてください。

派遣交換留学の場合は休学する必要はありません（ただし、卒業要件の単位数を満たさない場合は規定の年数で卒業できません）。

**Q. 海外渡航する前に、例えば外国語の勉強など、日本にいるうちに準備しておいた方が良いことは何ですか。**

A. 派遣交換留学やインターンシップなど、専門的な知識や技術を身につけるための留学の場合、一定程度の語学力が求められます。また、派遣先の大学などで履修予定の科目の基礎となる科目を履修していることが要件となったり、外国語能力試験の結果の提出を求められたりすることもあります。

Q. ビザやパスポートの申請などの手続きは、インターナショナルオフィスでサポートして頂けるのですか。

A. ビザやパスポートの申請方法の説明や書類記入のサポートはしますが、最終的には自分の責任で取得してください。

Q. 渡航先の治安が気になります。ニュースや知人の情報では不十分なので、どこで正確な情報を得ることができますか。

A. 外務省の「海外安全ホームページ」(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)では、国や地域別のテロや犯罪、感染症など、海外へ渡航する日本人が自分の安全を確保するために必要な情報が掲載されています。この他にもいくつか、安全確認のための情報が載っているサイトがあります。詳しくは、インターナショナルオフィスのウェブページで確認してください

([http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study\\_abroad/crisis/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/crisis/))。

Q. 留学先の学校の授業はどのような雰囲気ですか。

A. 留学先の大学や国、地域、プログラムによって異なりますが、先生の講義を聴くだけで終わるのではなく、ディスカッションやプレゼンテーションなど、「自ら発する」授業形式が多いです。また、日本人だけでなく、さまざまな国や地域から来た学生と一緒に学びます。

Q. TOEIC や TOEFL などの外国語の資格は事前に準備しておくべきですか。また、どのように勉強すればよいでしょうか。

A. 留学のタイプによっては、一定程度の語学力やそれを証明する試験の結果の提出を求められることがあります。留学準備の早い段階で応募資格を確認してください。

Q. 留学した先輩方は皆語学力が伸びているように思いますが、留学すれば語学力は伸びるものなのでしょうか。

A. 日常生活でその国や地域の言葉を使いますので、ある程度の語学力が身に付くのは確かです。ただ、「留学すれば語学力は伸びる」ものではなく、いかに自分の語学力を上達させるかは、あなた自身の努力次第と言えるでしょう。

Q. 海外経験が全くないのですが、いきなり海外留学できるかどうか不安です。

A. 海外経験のない学生も多く留学しています。また、まずは短期語学研修や海外異文化体験で経験を積んだ後、派遣交換留学のような比較的長期の留学をするという方法もあるでしょう。

Q. 留学中に困ったことなどが発生した場合、学校側からのサポートはありますか。

A. 大学を通して海外へ派遣される場合、インターナショナルオフィスの教員や学部の担当が派遣先の大学などの教職員と協力して、渡航前から渡航後までをサポートします。

## 危機・安全管理体制

海外留学中に事故や病気にかかったり、犯罪に巻き込まれたりしないために、出発前の十分な情報収集や健康管理を心がけてください。又、災害や暴動などの緊急時にも慌てず対応できるように、事前に、担当教員や保護者、派遣先の大学などの担当者との連絡体制を確認しておきましょう。

インターナショナルオフィスを通して海外へ派遣される学生は、本学が指定する海外旅行保険への加入と渡航前オリエンテーション（危機管理セミナー）への出席が義務付けられています（例年8月と2月）。



### 渡航学生が取るべき危機対応要点

- |                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 国際情勢や、渡航先の安全性についての情報収集を必ず行うこと（外務省、厚生労働省などのウェブページを参照）                                                |
| 2. 渡航中の危機に備える海外旅行保険などに加入すること                                                                           |
| 3. 渡航先の政治・社会・文化、日本との関係や対日イメージなどを理解しておくこと                                                               |
| 4. 災害やテロなどの緊急時の安否確認、退避の手配などの連絡・保護が在外公館から受けられるように、在留届を在外公館に提出しておくこと（特に、3か月以上外国に滞在する者は在留届の提出が義務づけられています） |
| 5. 本学と、緊急時に連絡できる連絡先、連絡方法を互いに確認しておくこと（渡航前に必ず、「海外渡航届」を所属の学部へ提出してください）                                    |
| 6. 緊急連絡先（派遣先などの電話番号や住所など）を記したメモなどを外出の際は必ず携帯すること                                                        |
| 7. 派遣先の関係者に緊急時の本学への連絡先を知らせておくこと                                                                        |
| 8. 緊急時の保護者への連絡方法を確認しておくこと                                                                              |

渡航前の準備や緊急時の連絡体制については、インターナショナルオフィスのウェブページ（[http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study\\_abroad/crisis/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/isc/study_abroad/crisis/)）で確認してください。





### (1) 独立行政法人／日本学生支援機構 (<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html>)

#### 主な語学・学力テスト情報

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/oversea\\_info\\_03\\_02.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_03_02.html)

#### 海外安全・生活情報

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/oversea\\_info\\_03\\_03.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_03_03.html)

#### 奨学金・ローン

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/oversea\\_info\\_03\\_01.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info_03_01.html)

#### 出版物

- 海外留学奨学金パンフレット

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/pamphlet\\_j.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/pamphlet_j.html)

- 「私がつくる海外留学」

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/guidebook.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/guidebook.html)

#### 海外留学に関するイベント・説明会

[http://www.jasso.go.jp/study\\_a/event.html](http://www.jasso.go.jp/study_a/event.html)

### (2) 各国留学情報サイト

#### 米国：日本教育委員会(日米両政府共同運営の教育交流機関)ホームページ

<http://www.fulbright.jp/study/index.html>

#### カナダ：AUCC(カナダ大学協会)ホームページ

<http://www.aucc.ca/>

#### 英国：“Education UK” (英国の公的機関である British Council による留学情報サイト)

<http://www.educationuk.org/>

#### オーストラリア：“Study in Australia” (オーストラリア政府による留学情報サイト)

<http://www.studyinaustralia.gov.au/japan>

#### フランス：“Campus France - Japon” (フランス政府留学局・日本支局のサイト)

<http://www.japon.campusfrance.org/ja>

#### ドイツ：DAAD(ドイツ学術交流会)ホームページ

<http://www.daad.de/en/>

#### 韓国：“Study in Korea” (韓国政府による留学情報サイト)

<http://www.studyinkorea.go.kr/>

#### 中国：“Study in China” (中国政府による留学情報サイト)

<http://www.cscse.edu.cn/>



Color your life ....

**香川大学インターナショナルオフィス**

<http://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>